

山口市では、現在、新本庁舎の姿をより詳細かつ具体的に描くための設計作業を進めており、市民の皆様のご意見やアイデアを設計に生かすため、市民ワークショップを開催しました。第2回のワークショップは、新型コロナウイルス感染症の影響により当初の予定を延期しての開催となりましたが、感染防止対策をしっかりと行った上で、活発な話し合いができましたので、取りまとめたご意見を報告します。

第2回

日時：令和2年6月21日(日)【午前の部】10:00～12:00
【午後の部】13:30～15:30

場所：山口総合支所 第10・11会議室
参加者数：25名(公募)

テーマ：「市民交流スペース、広場をデザインしよう」

ワークショップの流れ

これまでの経緯

ワークショップの目的

第1回ワークショップのおさらい

参考事例の紹介

グループワーク
「市民交流スペース、
広場をデザインしよう」

- ・周辺エリアにおける位置づけ
- ・具体的な使い方のイメージ

グループ毎に発表

まとめ

これまでの経緯を説明し、第1回ワークショップでまとめた「現庁舎の課題点と良い点」、「山口にふさわしい庁舎の将来像」をおさらいしました。そして参考事例の紹介を行った後、グループワークを行いました。

グループワークでは、新本庁舎が心地よく過ごすことができ、周辺エリアの賑わいの拠点となるように、市民交流スペース、広場はどのような場所となるのがよいのか、具体的な使い方をイメージしながら自由に意見交換を行いました。また、「新しい生活様式」の時代における市役所のあり方についても話し合い、アイデアを出し合いました。

最後に、グループでまとめた意見・アイデアを発表しました。感染防止対策により午前の部と午後の部で2グループ毎に別れての開催となりましたが、グループによって違う視点を持った個性あふれるアイデアを共有することができました。



新型コロナウイルス感染症対策

- ・少人数化を図るため午前と午後の二部制で実施
- ・密を避けるためグループごとに別室でのグループワーク
- ・進行役は遠隔地からのテレビ会議システムによる参加
- ・マスクの着用、手指消毒の徹底、受付時の検温 等

Aグループ **グループワークのまとめ(抜粋)** **<市民交流スペース、広場をデザインしよう>**



「新庁舎から楽しく発信！」

<イベント>

- ・ イベントの開催できるスペース
- ・ 野外イベント会場
- ・ スクリーン(大きく見える)が欲しい
- ・ イベント(催し)や祭りができる広さ
- ・ 軽い体操、集会ができる広さ、施設
- ・ イベントができ、屋根もあるとよい
- ・ 楽しくなる場
- ・ イベントスペースに誰でも使えるピアノがある
とよい
- ・ 広いスペースは好ましいが、ランニングコスト
も重要
- ・ 発表する側と見る側のスペースが欲しい

<防災>

- ・ 避難所には食料、感染対応の物品を備蓄
- ・ 災害時、避難場所になった時にプライバシーが
保てること
- ・ 高齢者、高度障がい者に対応した避難場所
- ・ 防災対応を考慮したスペース
- ・ 防災無線
- ・ 医療体制を整える
- ・ 発電機の設定
- ・ トイレは多めにつくる
- ・ 飲料水も生成できるような充実した設備
- ・ 管理コストについても考慮する



<憩い>

- ・ 軽食や一息できるスペース
- ・ 憩える場
- ・ 集える場
- ・ 休める場

<多世代利用>

- ・ 子どもからお年寄りが来れる場
- ・ バリアフリーの拡充
- ・ 子どもの遊べるスペース
- ・ 会議とか用途によって組換えのできるスペース

<自然・周辺環境>

- ・ 水、川とのつながり(一の坂川)
- ・ 散歩できる緑が多く欲しい
- ・ 市民がだれでも出入りしやすい場所
- ・ 清涼感のある噴水、または水の流れが欲しい
- ・ パークロードに面したゾーンが良い
- ・ 亀山公園とのつながり

<新しい生活様式>

- ・ 新しい機器の高齢者対応
- ・ パソコンをつなげられるところ
- ・ Wi-Fi
- ・ 室内の換気や殺菌対応
- ・ 喫煙スペース
- ・ オンラインに頼りすぎない
- ・ オンラインの充実

Bグループ

グループワークのまとめ(抜粋) <市民交流スペース、広場をデザインしよう>



「ワクワクするセントラルパークを目指して」

<庁舎敷地と一体化した周辺整備>

- ・市庁舎と市民会館との遊歩道、高架橋(連絡通路)
- ・幼児、乳母車、シニアも亀山公園山頂へ楽しく散策できる小道
- ・広場～美術館～博物館をつなぐ散策ルート
- ・美術館敷地と市庁舎広場との一体化
- ・亀山公園と広場をつなぐ
- ・身体の不自由な方にも配慮した広場の歩道(目の楽しさも)
- ・駅通りや新町からも賑わいが感じられる見せ方

<アクセス>

- ・バス等便利なシステムの構築
- マイカーを減らす
- ・新庁舎にむけてあらゆる所からアクセスできる
- ・市役所を起点として各施設を連結する
- ・自転車交通

<あったらいいな(広場)>

- ・防災訓練ができる
- ・手を洗うことのできる水道
- ・施設同士をつなぐコモンスペース
- ・芝生でヨガ、ハンモックイベント
- ・小さな子どもが安心して利用できる場所
- ・休憩できるテーブルや椅子を増やす
- ・キッチンカーなどイベント開催
- ・常設舞台
- ・屋外映画上映
- ・屋根のある休み場
- ・子どもも大人も見て学べて楽しめる農園
- ・中高生も入り易い交流スペース
- ・市民が気軽に入り易いオープンな空間
- ・自然(風・太陽)を感じられる広場



<アフターコロナ>

- ・土日、閉庁時の活用(市民にもビジターにも)
- ・災害に備え炊き出しもできるスペース(屋内外)
- ・どんな時でも使えるように工夫をした大きな空間
- ・冷暖房時でも十分な換気が行える
- ・入口に手洗い場
- ・自由に使えるパーティションを置いておく
- ・短時間の打合せができる仕切り

<広場とのつながり>

- ・明るくガラス張り
- ・庁舎と広場がオープンでつながる
- ・吹き抜けをつくり、廊下のない空間
- ・多目的レストルームを多数設置する
- ・軽食ができるカフェを併設したテラス
- ・屋内でもミニマルシェができる

<できたらいいな(交流スペース)>

- ・手続きの合間に時間を有効に使えるスペース
- ・窓口スペースとの一体化による待合エリアの確保
- ・市内各地の物産や歴史が一目でわかるコーナー
- ・全国でも希な山口の街を市民が知る、学ぶ
- ・ビジターに山口の魅力を発信する
- ・単なる展示ではなく YCAM 等のノウハウを活用した発信
- ・周辺資源を紹介する案内機能
- ・気軽に集える会議室
- ・大会議室の設置=防災時の避難所として使用
- ・小中学生が自習できて、町内会等にも活用できる運営
- ・組み合わせや仕切りの自由な空間

C グループ

グループワークのまとめ(抜粋) <市民交流スペース、広場をデザインしよう>



「ヤマグチ ユー&ミー」

<他施設との連携>

- ・亀山公園へ直接行ける通路、階段
- ・市民会館との連絡通路
- ・美術館、お堀の水を上手に利用して欲しい
- ・出る、入るがわかりやすい
- ・亀山ケーブルレール
- ・市の立体駐車場を美術館と共用できる
- ・美術館との連絡通路

<避難>

- ・避難場所にできる

<施設(広場)>

- ・噴水や水路
- ・実のなる木
- ・くつろげるベンチ、芝生の広さとスペース
- ・屋根のついた休憩場所
- ・亀山などの自然を眺望しながらくつろげる空間
- ・山口は緑が豊か、当所にはほとんど不要
- ・大きくなる木は植えない方が良く思う
- ・大型ビジョンを設置する

<施設(駐車場)>

- ・駐車場の出入口スペースを整備する
- ・立体駐車場は市役所が休みでも使用できる



<施設(内部)>

- ・グループワークができる場所
- ・コンビニ
- ・市民が長時間いても楽しめる場所
- ・子供が遊べる場所
- ・オンラインのシステムを市民が気軽に利用できる施設
- ・屋外と屋内の出入りがしやすい
- ・滑りにくい床

<施設(外観)>

- ・庁舎と市民交流スペースの各室のデザイン、カラーを揃える
- ・交流室、窓は大きく明るく

<イベント>

- ・屋外ミニコンサートが出来たら良い
- ・市民がプロデュースするセミナーなどが開催できる場所
- ・フリーマーケット
- ・ギャラリー会場
- ・ミニコンサート広場
- ・レクチャー広場
- ・夏祭り併用広場
- ・市民交流スペースを全開にするとイベントステージとして使用できたら!
- ・屋外イベントができるスペース、ミニステージなど
- ・土俵
- ・イベント用の電源を広場の各所に設備する(仮設は危険)

Dグループ

グループワークのまとめ(抜粋) 〈市民交流スペース、広場をデザインしよう〉



「山口のへそをつくる!!」

<イベント>

- ・農水産物を販売する物産展
(昔の「市」のような定期的で開催するもの)
- ・発表会、講演会ができるステージ
- ・イベントで使える広場、スペース
- ・避難場所に使え
- ・天候に左右されないイベントスペース
- ・屋外でも雨がしのげる屋根がほしい(可動式のもの)
- ・物産販売には冷凍庫等を使うので、電源確保
- ・小イベント会場になる設備を配置
- ・屋外スペースの利用
- ・日陰のスペースに椅子を置く
- ・仕切り(壁)は仮設的なもので対応
- ・サビエルに上がる階段があると良い

<特色のある>

- ・亀山の木々との景観調和
- ・山口市内に広場は他にもあるので、立地の特色を生かす
- ・誰が見ても美しい、感動する様な広場
- ・唯一無二の庁舎広場、他の広場との差別化
- ・文教・芸術の集った地区という立地を生かす

<つながり>

- ・市民会館との連携(駐車場も)
- ・商店街とマッチング、まちづくりと一緒に
- ・地域に密着したもの
- ・周辺の文教施設との連携、調和



<公共交通>

- ・周辺エリアにバスセンターを設置
- ・バスの駐車場も必要
- ・山口の街のへそとなるバスセンター

<気持ち良い空間>

- ・1フロアは市民の集まるスペースを広くとる
- ・休憩(多世代、バリアフリー)
- ・木質化、市有林を活用した木造建築(交流スペース)
- ・ゆったりとしたスペース
- ・いろんなスペースやコーナーがある
- ・ピアノの設置

<新生活様式>

- ・空間を広く
- ・ソーシャルディスタンスのレイアウト

<へその源(大切)>

- ・市庁舎<市民交流スペース、広場「ソフトもとても重要」
- ・広場の維持運営、ソフト面からの視点

- ・フロアにコンセントを多く設置する
- ・市民の利用⇄地域、地元、市外、観光
- ・広場は地下排水を十分行う(雨が来ればすぐ乾く!)
- ・駐車場は2時間以上は有料にした方がよい

「市民交流スペース、広場をデザインしよう」キャッチコピー

Aグループ 「新庁舎から楽しく発信！」

Bグループ 「ワクワクするセントラルパークを目指して」

Cグループ 「ヤマグチ ユー&ミー」

Dグループ 「山口のへそをつくる！！」

「市民交流スペース、広場をデザインしよう」のテーマのもと、各グループがアイデアをまとめられ、コンセプトを表すキャッチコピーを付けられました。

Aグループは、「新庁舎から楽しく発信！」というキャッチコピーのもと、市民交流スペースと広場を、多様なイベントに活用できる場、災害時の受け皿となる場、日常の憩いの場にするという提案でした。さらに、立地の特性を生かして自然や周辺環境とつながり、子どもからお年寄りまで多世代が利用できる市民交流スペースや広場にするというアイデアもありました。

Bグループは、市役所の敷地だけでなく街全体の広い視点をもって話し合いを行われ、「ワクワクするセントラルパークを目指して」をキャッチコピーとされました。亀山公園や美術館、市民会館の隣接した施設と直接つながり、周辺地域との連携を強化するようにアクセスを改善するというアイデアです。市民交流スペースと広場についても屋内と屋外で分断されないつくりとすることが提案されました。

Cグループは、「ヤマグチ ユー&ミー」をキャッチコピーとされ、市民交流スペース、広場が、くつろげる空間、屋根のある休憩場所、長時間いても楽しめる場所、子供が遊べる場所など日常的に利用できる場所として具体的なアイデアが出されました。また、コンサートやフリーマーケット、ギャラリー、市民プロデュースのセミナーなど、イベント時にも活用される場所にするという提案でした。

Dグループのキャッチコピーは「山口のへそをつくる！！」です。他の広場と差別化し、誰が見ても美しいと感じ、感動する広場とすることで、山口の街に「へそ」をつくるというアイデアでした。多様なイベントができ、木材を使ってゆとりのある気持ちの良い空間とした市民交流スペース、広場は、市庁舎よりも重要であるとのこと意見の一方で、維持運営のソフト面もとても大切なポイントとしています。



グループワークのまとめ

<市民交流スペース>

- 憩える場、休める場
- 気軽に集える多目的スペース
- 軽食ができるカフェ
- 子供の居場所
- イベントができる広い空間
- 山口の物産・歴史を発信する
- オンライン環境の充実

<広場>

- 屋根のある休憩スペース
- くつろげるテーブルとベンチ
- 亀山につながる散策路
- 噴水や水路の水辺空間
- オープンな芝生の広場
- 野外スクリーンやステージ
- 大きなイベントができる

<使い方や機能>

- 大小の多様なイベントの開催
- 物販スペースの設置
- 周辺施設との連携
- バリアフリーの拡充
- トイレの充実
- 災害時に活用できる

<新しい生活様式>

- 換気のできる冷暖房
- 手洗い場の充実
- 自由に使えるパーティション
- 用途で組換えできる空間
- ゆとりあるレイアウト
- 行き過ぎないオンライン化

各グループに共通して、憩える場、軽食ができるカフェなどの日常での使い方や、大小の多種多様なイベント開催の具体的なイメージがあげられていました。また、施設整備等のハード面と運用サービス等のソフト面の両方において、立地の特性に着目して周辺地域と連携することも共通した意見でした。この敷地ならではの特色ある市民交流スペース、広場にするとともに、既存の周辺施設のポテンシャルを生かすことで、市民の皆様に継続して使われる場所となるようなアイデアにまとめられています。

新型コロナウイルス感染症の影響により開催が延期となる中、第2回新本庁舎整備市民ワークショップにご参加いただいた皆様には、心よりお礼申し上げます。新しい試みとしてテレビ会議システムを用いての実施となりましたが、参加者の皆様のご協力のもと、第1回と同様に活発な意見交換をしていただき、大変有意義なワークショップとなりました。

この度いただきましたご意見やアイデアは、今後の具体的な設計に生かしてまいります。

問い合わせ：山口市総務部本庁舎整備推進室
〒753-8650 山口市亀山町2番1号
TEL：083-934-4151 FAX：083-934-2944
電子メール：honchosha@city.yamaguchi.lg.jp

